

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年7月12日

【四半期会計期間】 第17期第1四半期(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

【会社名】 株式会社アークコア

【英訳名】 ArkCore, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 正 渡 康 弘

【本店の所在の場所】 東京都足立区椿二丁目2番2号

【電話番号】 03(5837)3611(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 土 屋 勉

【最寄りの連絡場所】 東京都足立区椿二丁目2番2号

【電話番号】 03(5837)3611(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 土 屋 勉

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第1四半期 連結累計期間	第17期 第1四半期 連結累計期間	第16期
会計期間	自 2018年3月1日 至 2018年5月31日	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2018年3月1日 至 2019年2月28日
売上高 (千円)	603,093	639,797	2,661,405
経常利益又は経常損失 () (千円)	7,168	11,880	106,573
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 () (千円)	15,565	2,801	88,116
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	15,565	2,801	88,116
純資産額 (千円)	54,642	242,702	239,901
総資産額 (千円)	937,610	848,959	889,770
1株当たり四半期(当期)純利 益又は1株当たり四半期純損失 () (円)	9.93	1.58	52.99
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)		1.51	50.61
自己資本比率 (%)	5.68	28.47	26.85
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	31,010	46,249	228,574
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	4,073	26,241	55,655
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	78,693	10,964	324,439
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	308,788	187,587	271,043

(注) 1. 四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益について、第16期第1四半期連結累計期間は潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

（1）経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2019年1月3月期の四半期別GDP実質成長率が2四半期連続で増加しました。企業収益は主に大企業並びに非製造業での増加割合が大きくなっており、雇用情勢は有効求人倍率は上昇し、完全失業率は低下する傾向にあります。個人消費は、雇用者所得の増加が見受けられるものの小売業の販売額は減少しており、減退傾向にあります。

当社グループの事業セグメントは、バイク事業、フィットネス事業となっており、前連結会計年度から開始したゴルフスクール事業はフィットネス事業に含めております。当第1四半期連結累計期間における事業別のセグメントの業績は次のとおりであります。

（バイク事業）

当社のバイク買取台数は2,779台、前年同期比11.7%減、販売台数は2,483台、前年同期比6.7%減となりました。販売台数は減少しましたが、業者間オークションの相場が活況であったこと及び小売店の販売が好調であったことから、粗利単価は前年同期比17.2%増となったことが影響し、売上総利益は前年同期比9.4%増となりました。また、販売費及び一般管理費は、買取りに係る広告費が前年同期比8.3%減となったことを主な要因として、前年同期比1.5%減少となりました。

バイク事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高519百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント損失9百万円（前年同期は同29百万円）となりました。

（フィットネス事業）

当第1四半期連結会計期間末日時点でのエニタイムフィットネス店舗数は前年同期末と同じ5店舗であります。また、2018年11月から開始したステップゴルフ店舗数は2店舗であります。エニタイムフィットネス及びステップゴルフ各店舗の会員数は堅調に推移しており、売上高は増加いたしました。ステップゴルフの出店に伴う人件費及び地代家賃が増加したため、セグメント利益は減少しました。

フィットネス事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高120百万円（前年同期比11.0%増）、セグメント利益20百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高639百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益10百万円（前年同期は営業損失5百万円）、経常利益11百万円（前年同期は経常損失7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失15百万円）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末において総資産は848百万円となり、前連結会計年度末と比較して40百万円減少しました。主な要因としては、納税及び金融機関からの長期借入金の返済等で現金及び預金が83百万円減少し、商品在庫が57百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末において負債は606百万円となり、前連結会計年度末と比較して43百万円減少しました。主な要因としては、未払消費税等が14百万円、未払法人税等が11百万円、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が10百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末において純資産は242百万円となり、前連結会計年度末と比較して2百万円増加しております。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は187百万円（前年同期は308百万円）となっております。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は46百万円（前年同期は支出した資金31百万円）となりました。主な要因としては、支出した資金ではたな卸資産の増加額57百万円、得られた資金では税金等調整前四半期純利益11百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は26百万円（前年同期は支出した資金4百万円）となりました。主な要因としては、ステップゴルフFC店の出店等に伴う固定資産の取得による支出25百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は10百万円（前年同期は支出した資金78百万円）となりました。主な要因としては、支出した資金では長期借入金の返済による支出75百万円、得られた資金では長期借入れによる収入65百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,880,000
計	7,880,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (2019年7月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,970,000	1,970,000	名古屋証券取引所 (セントレックス)	単元株式数は100株でありま す。
計	1,970,000	1,970,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年5月31日		1,970,000		232,825		

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 193,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,776,000	17,760	
単元未満株式	普通株式 400		
発行済株式総数	1,970,000		
総株主の議決権		17,760	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年2月28日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2019年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アークコア	東京都足立区椿二丁目 2番2号	193,600		193,600	9.83
計		193,600		193,600	9.83

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間までの役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表等規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	273,443	190,437
売掛金	51,684	54,752
商品	139,460	196,992
貯蔵品	3,180	3,180
その他	46,765	41,417
流動資産合計	514,534	486,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	127,186	123,341
その他(純額)	23,443	28,314
有形固定資産合計	150,629	151,655
無形固定資産		
のれん	11,618	10,995
その他	4,714	4,162
無形固定資産合計	16,332	15,158
投資その他の資産	208,274	195,364
固定資産合計	375,236	362,178
資産合計	889,770	848,959
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,647	9,768
1年内返済予定の長期借入金	261,730	248,682
未払法人税等	13,586	2,144
賞与引当金	4,289	3,184
その他	117,678	91,348
流動負債合計	404,931	355,127
固定負債		
長期借入金	237,956	240,428
その他	6,981	10,701
固定負債合計	244,937	251,129
負債合計	649,868	606,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	266,598	266,598
利益剰余金	186,663	183,861
自己株式	73,858	73,858
株主資本合計	238,901	241,702
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	239,901	242,702
負債純資産合計	889,770	848,959

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
売上高	603,093	639,797
売上原価	295,400	303,761
売上総利益	307,692	336,035
販売費及び一般管理費	312,756	325,342
営業利益又は営業損失()	5,063	10,693
営業外収益		
受取手数料	1,202	1,497
助成金収入	-	1,140
雑収入	112	478
その他	7	7
営業外収益合計	1,323	3,123
営業外費用		
支払利息	2,556	1,915
訴訟関連費用	871	-
その他	-	20
営業外費用合計	3,428	1,936
経常利益又は経常損失()	7,168	11,880
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	7,168	11,880
法人税、住民税及び事業税	674	1,586
法人税等調整額	7,722	7,492
法人税等合計	8,396	9,078
四半期純利益又は四半期純損失()	15,565	2,801
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失()	15,565	2,801

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()	15,565	2,801
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	15,565	2,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,565	2,801
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	7,168	11,880
減価償却費	14,116	10,418
のれん償却額	-	622
株式報酬費用	2,045	4,394
賞与引当金の増減額(は減少)	554	1,105
受取利息及び受取配当金	7	7
支払利息	2,556	1,915
売上債権の増減額(は増加)	18,564	3,067
たな卸資産の増減額(は増加)	73,602	57,532
仕入債務の増減額(は減少)	3,590	2,120
その他の流動資産の増減額(は増加)	4,521	5,032
その他の流動負債の増減額(は減少)	9,927	11,372
その他の固定負債の増減額(は減少)	-	3,972
その他	632	2,371
小計	25,534	35,100
利息及び配当金の受取額	-	0
利息の支払額	2,333	1,801
法人税等の支払額	3,143	9,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,010	46,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	450	450
有形固定資産の取得による支出	4,003	25,506
差入保証金の差入による支出	-	285
差入保証金の回収による収入	380	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,073	26,241
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	65,000
長期借入金の返済による支出	85,809	75,576
自己株式の売却による収入	7,220	-
配当金の支払額	104	15
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	373
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,693	10,964
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	113,777	83,456
現金及び現金同等物の期首残高	422,565	271,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	308,788	187,587

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
広告宣伝費	40,882千円	37,430千円
給与手当	77,144千円	84,582千円
賞与引当金繰入額	2,317千円	3,184千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
現金及び預金	309,838千円	190,437千円
預入期間が3か月を超える定期預金	1,050千円	2,850千円
現金及び現金同等物	308,788千円	187,587千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

2018年5月1日付けでAK Capital株式会社が新株予約権を行使したため、当社は自己株式20,000株の処分を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が330千円、自己株式が7,626千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が259,314千円、自己株式が148,516千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
(単位:千円)

	報告セグメント		合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	494,530	108,562	603,093
セグメント利益又はセグメント損失()	29,642	24,579	5,063

(注) 「セグメント利益又はセグメント損失()」は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		調整額	合計(注)
	バイク事業	フィットネス事業		
売上高				
外部顧客への売上高	519,336	120,460	-	639,797
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,250	-	2,250	-
計	521,586	120,460	2,250	639,797
セグメント利益又はセグメント損失()	9,828	20,521	-	10,693

(注) 「セグメント利益又はセグメント損失()」は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	9.93円	1.58円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失()(千円)	15,565	2,801
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又 は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	15,565	2,801
普通株式の期中平均株式数(株)	1,567,272	1,776,333
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益		1.51円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)		75,986
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社は、2019年6月14日開催の取締役会決議により、第2回無担保社債（私募債）を発行いたしました。その概要は次のとおりであります。

- 1．発行総額：200,000,000円
- 2．社債の利率：年0.35%（保証料他は除く）
- 3．発行価額：額面100円につき金100円
- 4．償還金額：額面100円につき金100円
- 5．償還期限：2024年6月21日
- 6．償還方法：半年毎定時償還
- 7．払込期日（発行日）：2019年6月21日
- 8．保証人：株式会社埼玉りそな銀行
- 9．財務代理人：株式会社埼玉りそな銀行
- 10．総額引受人：株式会社埼玉りそな銀行
- 11．振替機関：株式会社証券保管振替機構
- 12．資金の使途：運転資金（主として商品在庫調達用資金に充当）

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年7月11日

株式会社アークコア
取締役会 御中

監査法人コスモス

代表社員 業務執行社員	公認会計士	富	田	昌	樹	印	
業務執行社員	公認会計士	相	羽	美	香	子	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アークコアの2019年3月1日から2020年2月29日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アークコア及び連結子会社の2019年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。